

しずくしい 議会だより

No.
112
2020.1
編集／広報広聴常任委員会
発行／岩手県平石町議会



●今号の主な内容

12月定例会…2

町政を問う

一般質問 12議員が質問…5

町民と議会との懇談会…18

ふるさとへの便り(78) …23

●今号の表紙／なかよしシリーズ⑦

「わたしたち3きょうだい」…24



3年ぶりの改編、健康子育て課として健康センター内でスタート

一般会計他7会計補正予算、 栗石町課設置条例の一部改正案を可決

令和元年12月定例会は、12月6日から12月17日まで12日間の会期で行われました。

本定例会では、報告2件、条例9件、予算8件、契約他4件、請願1件を審議しました。

また、一般質問は、12人が登壇し町当局の考えをたきました。

さらに、議員発議1件を採択し、意見書を国に提出する事としました。

令和元年度一般会計補正予算

○一般会計補正予算（第5号）

補正前の額	補正額	計
97億79万7千円	1億3,399万9千円	98億3,479万6千円

主な予算の内訳

▶障害者自立支援給付事業	4,286万3千円
▶介護保険運営事業	4,442万5千円
▶消防施設等整備事業	△1,503万8千円
▶学校教育環境整備事業	850万2千円
▶中央公民館管理運営事業	1,119万0千円

主な質疑

鶯宿温泉開発、補助金減額は

問

【坂下議員】鶯宿温泉開発株式会社運営費補助金250万円を減額し、工事費補助金として82万5千円を計上したのはなぜか。

答

運営費補助金については、基金制度を活用して経営改善をしていく予定であるため減額した。今回計上した工事費補助金は、緊急の改修費等に半額補助するもの。

災害復旧、雫石川の川底掘削は

問

【西田議員】河川災害が懸念される雫石川の橋場、小赤沢、春木場地区の川底掘削を国や県に要望、要求書提出してはどうか。

答

県は雫石川、葛根田川で川底の土砂をさらうことを検討していると聞いている。県と協力して危険箇所を点検し、要望していく。



川底をさらわないと洪水の心配が

環境対策課を町民課に統合、課題に対応できるのか

問

【幅議員】環境対策課を町民課に統合し「環境対策室」とする条例改正案だが、環境を軽んじているとは言わないが、開発、林業、エネルギー、景観、ゴミ等町の大変重要な部分を担っている課である。行政的なことも含め、しっかり対応できるのか。

答

環境問題への取り組みは、環境対策課だけではなく、今まで各課連携して取り組んできたし、今後も連携を進めて行く。施策の取り組みについて、現在より後退するようなことはない。

討論要旨

町政の方向性と矛盾するので **反対** 【西田征洋議員】

環境対策は、総合計画の中でも重点課題としているのに、なぜ町民課に事実上吸収させるのか。また、子ども・子育て対策はその重要性がますます増えているときに単独課から外すことは町政の目指す方向と矛盾している。この2課は残すべきである。

ここが変わる

子ども子育て支援課、環境対策課を廃止「健康子育て課」、新「町民課」に

雫石町課設置条例の一部改正案は、賛成多数で可決され、令和2年度より健康推進課に子ども子育て支援課を統合し「健康子育て課」に、町民課に環境対策課を統合し新たな「町民課」になり、業務の効率化が図られる事となりました。

火葬場使用料、町外利用者等の料金を値上げ

雫石町火葬場奨励条例の一部改正案が可決され、令和2年度より、町外利用者の使用料が、火葬区分により12,000円から24,000円に値上げされることになりました。

し尿処理手数料が値上げに

雫石町廃棄物処理等手数料条例の一部改正案が可決され、令和2年度より、処理手数料が10リットルあたり3円値上げして61円になります。また、処理業者等の審査手数料は、1件当たり14,750円値上げして20,000円となります。



平成3年以来の改定となる手数料

請願・陳情

請願第2号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願
提出者	岩手県労働組合連合会 議長 金野耕治 盛岡地域労働組合連合会 議長 菅蒲澤実
審議結果	採択

令和元年第7回雫石町議会 12月定例会 議決結果等一覧 会期：12月6日(金)～12月17日(火)

議案番号	議案名	議員名													採決結果		
		金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤真純	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東		上野三四二	坂下栄一
議案第1号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第2号	雫石町課設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第3号	雫石町会計年度任用職員の給与、勤務条件等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	雫石町特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	雫石町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	雫石町廃棄物処理等手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	雫石町火葬場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	雫石町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	令和元年度雫石町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第11号	令和元年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第12号	令和元年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	令和元年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第14号	令和元年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第15号	令和元年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	令和元年度雫石町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	令和元年度雫石町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	御明神小学校大規模改修工事(その1)の請負契約の変更に申し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	財産の取得の変更に申し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第1号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 ……退席 ※前田議長は採決には加わりません。

議会の傍聴においでください

次の定例会は、2月27日(木) 10時開会(予定)です。インターネットでもご覧になれます。

雫石町役場ホームページまたは、下記のアドレスからご覧ください。



公開用URL <https://smart.discussvision.net/smart/tenant/shizukuishi/WebView/rd/council.html>

ホームページ <http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>

12月定例会

一般質問 町政を問う 12議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 いわもちきよみ 岩持清美議員	七ツ森の町有地、 今後の開発は	6
 ふるだてけんご 古舘謙護議員	ごみの減量化、資源化への 具体策は	7
 おかもとただみ 岡本忠美議員	工場からの排水処理対策は	8
 にしだまさひろ 西田征洋議員	運転免許証、返納者の支援は	9
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	矢櫃地区の町水道整備は	10
 どうぜんよしのぶ 堂前義信議員	第三セクター道の駅、 その改革は	11
 さかい なおき 坂井尚樹議員	産業まつり、今後の方向性は	12
 とくた ゆきお 徳田幸男議員	床下、床上浸水被害への 対策は	13
 かね かつお 金子一男議員	第三次町総合計画、 教育分野の課題は	14
 おおむらしょうめい 大村昭東議員	町民の信頼、どう取り戻す	15
 うわのみよじ 上野三四二議員	廃材焼却、不法投棄の防止は	16
 はば ひでや 幅秀哉議員	建設関連工事額と 技師の人数は	17

ここが聞きたい一般質問

七ツ森の町有地、今後の開発は

町長 年度内に方向性示したい



質問者 / いわもちきよみ 岩持清美 議員

熱水は再利用が期待され、夢も大きくふくらむ。鉍毒の含まない熱水であってほしい。

問 七ツ森の町有地開発には、土地購入費を含め3億3千万円以上投入されたが、移住者は1人もいない。また、交流センター運営費は、毎年500万円以上が見込まれる。大きな課題の解決策は、だいたい見えてきていると町長は述べているが、どのような方向で考えているか。

町長 開発プロジェクト計画期間は令和2年度までのため、その間はまちづくり会社と連携し進めていく。計画期間終了後に向け、新たな施策展開が必要と考えており、年度内には今後の方向性を示したい。

どうなっている昇瀬橋

問 昇瀬橋は、供用年数55年以上経過し劣化が進んでいるし、幅員も不足である。平成27年度橋梁点検結果では、架け替え予定橋梁とされているが、事業化の考えは。

町長 実施設計概算では、工期3年、工事費約8億円と想定している。町民生活や災害時の避難道路として重要な橋で、架け替えは急務だ。コストダウンが可能か精査し、早期の事業着手を目指す。

地熱発電の事業化の見通しは

問 地熱エネルギーは安定性が高く、CO₂発生はない。使用後の熱水は、再利用が期待される。今年度、大松倉地域で民間事業者により熱源井戸の試掘が行われたが、その結果はどうだったか。

町長 見通しについて、現時点では不明との報告を受けており、12月に開く大松倉山南部地域地熱調査協議会で経過報告が予定されている。



大松倉地域の試掘の状況

ここが聞きたい一般質問

ごみの減量化、資源化への具体策は

町長 さらなる普及啓発に取り組む

質問者／^{ふるだてけんご}古館謙護 議員



「美しい地球」、「緑豊かな雫石」を守るため、ごみの減量化にワンチームで取り組みましょう!!

問 町の1日当たりのごみ排出量は、全国及び岩手県と比べて多く、増加傾向である。減量化、資源化の具体的な取り組みと効果はどうか。

町長 広報紙やホームページにごみの排出状況等を掲載、ごみと資源の分け方・出し方カレンダーを作成し、全戸配布等して周知している。また、資源ごみストックヤード整備等に補助金や集団資源回収事業に奨励金の交付等を実施している。ごみの排出量が横ばいの現状を踏まえ、普及啓発に一層注力し、近隣市町村の有効事例を参考にしながら、ごみの減量化、資源化に取り組む。



整備されたごみ収集所・資源ごみストックヤード

台風19号の対応の問題点は

問 台風19号の接近に伴い、避難準備・高齢者等避難開始を発令したが、避難状況等に問題点はなかったか。

町長 10月12日14時30分に町内全域を対象に発令、町営体育館に15名が避難した。介護をしている方から避難支援の要請があったことから、今後は、要介護者を避難させる家族の支援、福祉避難所の運営等、各福祉施設と連携して災害に備える。

第三次総合計画、最終年度の人口推計は

問 第三次雫石町総合計画最終年度の令和9年度の人口推計はどのように見込んでいるか。

町長 令和元年10月時点の人口は1万6,435人、国立社会保障・人口問題研究所の予測によると令和9年度の人口は1万4,100人と試算されている。総合計画で数値は算出していないが、本年度改定を行う「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で明らかにする。

ここが聞きたい一般質問

工場からの排水処理対策は 町長 工場主体で改善に取り組む予定



質問者／^{おかもとただみ}岡本忠美 議員

モリアオガエル・シオカラトンボ・
ゲンジボタルのすむ里にしたいな～

問 長山地域の食品工場からの排水問題の現状は。

町長 食品工場からの排水問題対策について2工場から排水状況とその処理について現地確認及び聞き取りを実施した。工場からの排水については、法律で定められた基準を満たしている。

排水されている沢については年2回清掃活動をしていたが、今年度から4回活動計画に変更し現在3回下流の住宅付近まで実施したと報告されている。

問 今後の排水対策はどう考えているのか。

町長 町・工場・地域住民で協議のうえ工場主体で令和2年4月から2年間の試験的に排水の改善に向け取り組む予定である。

製材工場の騒音問題は

問 製材工場からの騒音問題について町としてどう考えているか。

環境対策課長 町としては、製材工場と地域住民それぞれに対してこの問題がよりよい方向に進むよう対応していきたい。

問 今後製材工場の騒音低減対策は。

環境対策課長 製材工場は低減対策として、防音壁設置や、乾燥機のモーター及びファンへの防音カバーの設置などを実施している。今後も騒音問題については、工場と住民にそれぞれ対応していく。



みんなで守る、まちの清流

ここが聞きたい一般質問

運転免許証、返納者の支援は

町長 公共交通体系の整備が必要

質問者／にしだまさひろ
西田征洋 議員



自動車運転免許証の自主返納で、公共交通体系の見直しが必要ですよ!!

問 高齢者は個々に様々な事情を抱えながら運転免許証を自主返納すべきかどうか考えていると思う。町の支援策は。

町長 高齢の自動車運転免許証所持者は多数いるが、自主返納する人も増えてきている。町独自の支援は、検討しているところであり、生活の足を確保する公共交通体系整備は必要性を感じている。



さらなる公共交通体系整備が望まれる

高齢者の補聴器助成

問 高齢な難聴者の方の補聴器助成をする自治体が増えていると聞いたが、町の取り組みはどうか。

町長 高齢者の生活支援ニーズが多様化する中で必要と思う。現在は身体障害者手帳を交付されている方への補聴器購入助成を行っている。今後は国、県、近隣自治体の動向を注視して方向性を出したい。

河川への排水対策は

問 長山地域の食品工場の排水対策として、新しい動きがあると聞いたが。

町長 工場の隣接地を所有する人から当該排水の処理について提案があり、町・工場・地域住民で協議をして、4月から2年間排水処理試験を行い、改善が見込めるなら本格的な取り組みをすることになる。

■他にこんな質問もしました
・国民健康保険税の減免について

ここが聞きたい一般質問

矢櫃地区の町水道整備は

町長 第三次町総合計画に盛り込む予定



質問者 / ^{すぎさわとしあき}杉澤敏明 議員

日常生活に不可欠な水道は、矢櫃地区にも整備が必要です。

問 現在、町水道は、矢櫃地区に隣接する九十九沢地区までは鶯宿簡易水道第5次拡張事業により、平成23年度までに整備済である。水道は、地区住民の日常生活に不可欠な施設であるので、矢櫃地区への町水道の整備を早期に実施できないか。

町長 上水道の拡張については、現時点では整備計画がないので、水道未普及地域生活用水確保事業補助金で生活用水確保の支援を継続していく。新たな水道施設の整備については今後の研究課題としていきたい。

問 第三次町総合計画の中に「整備計画を作成し整備していく」と掲げて、進めていくようにしてもらいたい。

町長 矢櫃地区の水道整備については、第三次町総合計画に盛り込む予定としている。若干時間はかかると思う。

社会減[※]を少なくする人口減少対策を

問 第三次町総合計画の人口の目標値は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定と並行して、今後作るということだが、できるだけ社会減を少なくする人口減少対策を打ち出さないと歯止めをかけられないと思うが、どうか。

政策推進課長 第I期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でもいきいきと仕事のできるまちづくりとして、農業、商工業、観光業の振興とともに、それぞれの担い手、後継者の確保対策や就労環境の整備に取り組んできた。今後もさらに重要になるので、一層充実・拡充したものにしていきたい。

※社会減…転出と転入の差がマイナス状態のこと

■他にこんな質問もしました
・町道の交差点の安全対策について



水道整備が待たれている矢櫃地区の矢櫃公民館付近

ここが聞きたい一般質問

第三セクター道の駅、その改革は

町長 新経営陣で改善進める

質問者／^{どうぜんよしのぶ}堂前義信 議員



企業は人なり。
新経営陣の手腕に
大いに期待しています！

問 第三セクター道の駅の経営は長年に渡り赤字経営である。その原因分析と赤字解消に向けた経営改革をどのように進めるのか。

町長 平成 21 年度から 30 年度までの 10 期連続で経常損失を計上している。豪雨災害による利用者の減少等外的要因もあるが、会社として経営改善策を見いだせなかったことや町の要請事業が経営を圧迫し続けたことが長期赤字の原因である。

今後は、経営陣の刷新を図り経営基盤の立て直しを進めて行く。



長期赤字解消が期待される道の駅

町交通指導隊の支援は

問 町交通指導隊の活動の現状と隊員数の減少等への対策や支援はどうか。

町長 現状は、定数 25 名に対し 20 名が活動しており、平成 30 年度は見守り活動を除き延べ 118 日 563 人が交通指導等にあたっている。

令和 2 年度より非常勤特別職の地方公務員から会計年度任用職員となり、報酬や身分の安定を図って行く。

情報化教育の整備状況は

問 令和 2 年度より小学校のプログラミング教育が始まるが、情報化の整備状況はどうなっているか。

教育長 インターネット接続環境は、全教室接続は七ツ森・西山・改修後の御明神小学校及び雫石中学校の 4 校である。一部教室接続は御所小学校、普通教室全て接続できないのは雫石小学校である。

コンピューターは児童 6.6 人に 1 台、電子黒板があるのが普通教室 47 教室のうち雫石中学校の 12 教室だけである。

今後とも国や県の動向を注視し、児童にとってより良い学習が提供できるよう対応していく。

ここが聞きたい一般質問

産業まつり、今後の方向性は

町長 産業振興推進イベントとして成長させる

質問者 / さかいなおき 坂井尚樹 議員



産業まつりを通じて、
更なる町の産業振興を願います。

問 過去5年間の来場者数の推移は。

町長 本年は、初日の雨天の影響により例年を下回る17,000人。昨年は、2日間好天に恵まれ最高の21,000人。台風の影響があった平成29年の14,500人が最低だった。天候による影響があるものの、おおむね18,000人前後で推移している。

問 新たな企業等の出店の有無と来場者の反応は。

町長 青果市場のせり体験、稲の脱穀体験、ドローンによる薬剤散布の実演などを新たな取り組みとした。来場者アンケートでは76パーセントの方が楽しかった、満足できたとの回答だった。

問 雨天時を想定した体育館での催し物は。

町長 来場者に多くの体験コーナーや催しを楽しんでもらえるよう体育館内での展示、物販ブース、餅の振る舞いのほか、郷土芸能、ダンス、演奏などのステージイベントを開催している。また、アンケートを実施し、その結果を踏まえながら随時催しを見直す。町の産業振興を推進するうえで、より意義のあるイベントとして成長させていきたい。

七ツ森の伐採、町民への周知は

問 町民への説明や周知の仕方は。

町長 初年度である平成28年度の伐採事業に入る前に、近接する七ツ森小学校、松寿荘等の関係施設への事前説明を開催した。住民説明会は、初年度の伐採後に住民から要望を受け平成29年7月に東町公民館において説明し、29年度、30年度については近接する東町公民館、黒沢川公民館で事前説明会を開催した。

問 伐採後の植林の考え方は。

農林課長 松くい虫対策のための伐採事業だが、先人の方々が国から払い下げを受けるために苦労した山である。その後、雫石大火の時には七ツ森の山の木が使われたという歴史がある。木を切るのは残念だったとの声も聞く。今後は地域の方や、子どもたちが森林学習等ができるような場所にしていきたい。



産業まつりを町を代表するイベントに

ここが聞きたい一般質問

床下、床上浸水被害への対策は

町長 河川を点検し、対策を見直す

質問者／とくたゆきお 徳田幸男 議員



災害対策は、最悪の事態を想定したものであることが必要です。

問 台風 19 号による被害を踏まえ、平成 25 年の大雨で、床下、床上浸水被害を受けた町内の地区について、何らかの対策を講じるべきではないか。

町長 河川の大小を問わず危険区域を点検するなど見直さなければならない。

問 災害時、生命に関わる危機的状況の際には、防災無線で子どもの声で避難を呼びかける方法は非常に効果があると思うがどうか。

防災課長 防災行政無線の運用で、今後検討していく。

子ども家庭支援員を配置

問 児童虐待事案に対応するための専門員等の配置が必要ではないか。

町長 専門知識を持った子ども家庭支援員を配置し、子どもがいる家庭全般の支援のほか、要支援児童及び要保護児童等への支援を行う。

防犯カメラ設置の検討を進める

問 キャンプ場、観光地、学校、町内の主要地点に防犯カメラを設置することにより治安対策が図られるが、どのように考えているか。

町長 町が設置している防犯カメラの台数は 8 台で十分な台数ではなく、各行政区、学校などの要望を基に設置の検討を進めていく。



キャンプ場なども防犯カメラの設置が必要では

ここが聞きたい一般質問

第三次町総合計画、教育分野の課題は 町長 児童数と雫石高校入学者数の減少



質問者／^{かねこかずお}金子一男 議員

雫石高校生の町内就職者は5人。もっと増やしたい。

問 教育分野の課題と目指すべき姿は。

町長 小学校を統廃合したが今後も児童数の減少が見込まれている。また、雫石高校の入学者数の減少が課題である。高等教育の場を確保するため、地域に必要とされる魅力づくりを進める必要がある。生涯学習を通して歴史と文化を継承し、郷土愛を育てるまちづくりを進めていく。

問 保健・医療・福祉分野の課題と目指すべき姿は。

町長 保健・医療分野では、メタボリックシンドロームの該当者が多いことや、早期治療のためのがん検診受診率の向上が課題である。また、福祉分野では、子育てニーズの多様化に対応する環境づくりや、介護保険要支援者ニーズの把握が課題である。

各分野が連携して包括的、一体的な取り組みを行い、健やかで安らぎのあるまちづくりを進めていく。

問 産業分野の課題と目指すべき姿は。

町長 農業分野では農業従事者の減少と高齢化の進行、商業分野では商店の後継者不足等が課題である。農畜産物の販売促進や、6次産業化の活用推進が必要と考えている。人が集い、活気あふれるまちづくりを進めていく。

問 環境分野の課題と目指すべき姿は。

町長 地域や個人の環境に関する意識の向上を図り、環境にできるだけ負担をかけない循環型社会の構築。再生可能エネルギーの導入を進め温室効果ガスの排出量を削減、ごみの排出量の削減とリサイクル率が進んでいないことが課題である。環境を守るエネルギーの利用と廃棄物の資源循環を推進し、持続可能なまちづくりを進める。



「虹の似合うまち雫石町」ブランドロゴ

ここが聞きたい一般質問

町民の信頼、どう取り戻す

政策推進課長 町有地開発の方向性を考慮し取り組む

質問者／^{おおむらしょうとう}大村昭東 議員



平成 30 年 10 月までの
違法・不当・不公正行政を是正し、
公務正義の心田を耕すべし。

問 町有地 14 ヘクタール活用事業で、
どのようにして町民の信頼を取り戻すのか。

政策推進課長 今後のまちづくりのあり
方、町有地開発の方向性などを考慮し、町民
の信頼に応えるように取り組んでいきたい。

問 法令を正しく解釈、適用していれ
ば、監査請求も訴訟も起きることはない。プ
ロポーザル公告の無効規定をどう解釈して適
用したか。

政策推進課長 弁護士によれば、町のプ
ロポーザルの公告や実施要綱等において、契
約締結後に資格要件を満たさないことが判明
した場合の措置の規定がなかったので、契約
の無効、取り消しは困難であるとの見解で
あった。

問 町有地 14 ヘクタール活用事業は
何だったのか。このようなモデルプロジェク
トは作ってはならない。なぜリスク管理、検
証、評価を行わなかったのか。

政策推進課長 まちづくりへの情熱や思
いを持って取り組んできた。検証作業を次の
取り組みに向けて考えている。

ホップ栽培、若手農家を支援

問 ビール工場とホップ栽培で町の
農業の PR ができたとあるが、町では今まで
ホップ栽培は定着しなかった。ホップ栽培定
着の方策はどうか。

政策推進課長 若手農家を支援しなが
ら、ビール会社と連携を取り、町の農産物や
観光振興に寄与できるように支援していく。



活用が期待される、七ツ森地域交流センター



雫石産ホップでおいしいビールに期待

ここが聞きたい一般質問

廃材焼却、不法投棄の防止は 町長 資源として回収に努める



質問者 / ^{うわのみよじ}上野三四二 議員

もう町長就任1年、
もっと自分の考えをはっきりしても
いいんじゃないかなあ。

問 廃材の野外焼却や不法投棄が散見される。廃材の資源化を高めるため、地域毎にストックヤードを設置し焼却防止や不法投棄防止をすすめるとともに資源として回収してはどうか。

町長 農業用廃プラ類は毎年2回40から50トンを一カ所で回収している。焼却は一切禁止され罰則がある。また不法投棄は犯罪であるが後を絶たないことから取締りを強化していく。河川からの海洋へのプラスチック流出防止や環境保全に努め、資源として利用できるものは、ストックヤードの設置も検討し回収に全力であたる。



このような野外焼却は違反です

体罰禁止法の「体罰」と「しつけ」区分は

問 令和2年4月から施行される体罰禁止法では「体罰」と「しつけ」を明確に区分するというがその内容は。虐待防止や家庭支援のため町に専門職員を配置し対策の整備を図る必要があるがどう進めるか。また虐待事案やいじめによる不登校などはないか。

町長 国では区分を明確にし指針で定めるとしている。体罰などによる子どもの権利を擁護し家庭総合支援のため専門職員を配置し関係機関と連携していく。

教育長 体罰による不登校はないが、いじめによる不登校は昨年1件あった。教育委員会も入って学校の謝罪のもと本人、保護者の納得を得ており、当該生徒も改善傾向にある。

町職員に海外、国内研修の機会を

問 行政プロ意識、町民サービスの向上のため、自治研修のほか、民間企業研修や海外先進地調査など視野を広めるため積極的に研修をさせる考えはないか。

町長 県内に限らず、必要に応じて県外研修も実施してきた。若い職員は実践研修を通して、礼節などを学ぶことも必要だと思っている。

ここが聞きたい—一般質問

建設関連工事額と技師の人数は

町長 工事額は総額 20 億円、技師の人数は 13 名

質問者 / **幅 はば 秀哉 ひでや 議員**



スマホにしました。が、使い方を覚えればすごく便利、
使い方を覚えるまでが大変、進化早すぎませんか？
子供たちは、いともたやすくマスターする。

問 平成 30 年度決算、各課建設分野に係る総額と携わる職員数と技師の人数は何人か。

町長 一般会計決算工事総額約 15 億 8,473 万円、特別会計 3,323 万円、企業会計水道事業 1 億 1,891 万円、下水道事業 2 億 5,415 万円である。職員数は地域整備課職員 10 人、その内技師 6 人、上下水道課職員 13 人、その内技師 6 人、農林課職員 14 人、その内技師 1 人となっている。総額約 20 億円、技師数 13 人、1 技師当り 1 億 5,300 万円相当を担当している事となる。

包括ケアシステムの拠点づくりとは

問 包括ケアシステムの拠点づくりとはどのようなものなのか、また、関連事業所との連携構築の進み具合と、この事業の周知についてどう考えているか。

町長 拠点づくりは『通いの場づくり』で、平成 30 年度は 4 カ所、今年度は 2 カ所の立ち上げを支援した。現在 13 カ所で活動している。他職種連携強化はお互いの『顔の見える関係づくり』に取り組んでいる。事業の周知は町民へ直接伝えることで理解と浸透を図っている。

小・中学校でのスマホや携帯電話の所持、持込は

問 小・中学校におけるスマホや携帯電話等の所持、持込の有無の確認はできているか、確認方法はどのようにしているか、またその扱い方の周知についてどのように考えているか。

教育長 機器の持ち込みは禁止となっている。所持は対象者、内容に違いがあるが、4 校でアンケートを実施し、所持率、使用時間、ゲームの課金等を調査している。アンケートを実施していない学校も、直接児童へ聞き取りし、実態把握をしている。扱い方、防犯対策は学校通信、呼びかけ、学校、PTA 行事と連携しながら、親子 SNS 教室、講演会や講習会を実施している。



使い方を考えよう、スマホと携帯電話

「皆様のご意見をお聴かせください」

町民と議会との懇談会を開催

栗石町議会では、町民の皆様への町政に関する情報提供とご意見、ご要望を広くお聴きするため、「移住定住について～たくさんの人に来てほしい」をテーマに令和元年11月16日・17

日の2日間、4会場で「町民と議会との懇談会」を開催しました。

延べ25名が参加し、次のようなご意見・ご要望がありました（抜粋）。

御所公民館（11月16日（土）・出席者8人）

- コテージ村への移住について、計画より非常に定住者が少ないのに、また同じような移住計画をしたことは、どうなっているのか。
- 温泉の町として人を呼び、色々なスポーツ関係の大会を誘致した方がいいと思う。
- 色々なイベントを実施して栗石のことを知ってもらうことが大事である。月1回位は移住体験ツアーも実施してはどうか。
- 栗石は観光の町であるので、予算をもっと使って観光の面からPRをした方がいいと思う。



スポーツやイベントで、もっと町のPRを

西山公民館（11月16日（土）・出席者5人）



環境問題の意見が多かった

- ベアレンビールが誘致できたのだから、活用して盛り上げて欲しい。
- 移住定住の即効性は企業誘致だと思うが、環境問題もなく、いま住んでる人が住みやすいのが一番ではないか。
- 移住定住は、まず働く場所があるかどうか。統廃合した各小学校を利活用し、行ってみたい町を作っては。
- 移住定住は自然環境をベースで考えたほうが良い。

雫石公民館（11月17日(日)・出席者6人）

- 繫十文字から七ツ森地域交流センターまでにトイレが欲しい。
- 七ツ森地域交流センターの今後の活用は。せっかく建てたのだからもっと活用して欲しい。
- 監査があり七ツ森地域交流センターの活用がされていないとの報告があった。活用が遅れていることの説明が町から無いのはなぜか。
- イベントなどの情報が無い。分かりにくい。
- 七ツ森地域交流センターに入る道路に看板がないので、立てて欲しい。



交流センターの案内看板設置の要望が出た

御明神公民館（11月17日(日)・出席者6人）

- 移住定住で人口を増やすため、移住すれば補助金を出すなどの特典を掲げている自治体があるが当町はどうか。
- 移住定住の取り組みは他市町村でもやっているため競争となっている。温暖なところがいいと思うので、雫石町にとっては厳しい。お金をかけないで、住んでいる人が住みやすいまちにしていくことが大事だと思う。
- 大学や専門学校に進学すると、仙台や関東方面に就職する。農業などの後継者も雫石に住まないで、滝沢などに住む人も多い。
- 移住定住したいが働く場所がないということなので、企業誘致をどのように進めていくのか。



企業誘致で働く場を増やしてほしい

その他の主な意見については、ホームページをご覧ください。

総務産業常任委員会

〔杉澤敏明委員長〕

調査① ワサビ事業を現地視察 [9月12日]

ワサビ事業を譲渡

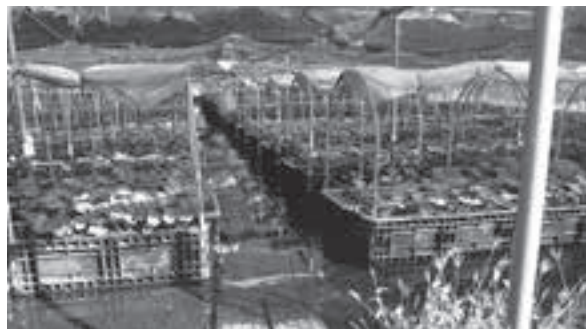
株式会社しずくいしが運営する「ワサビ事業」の現地視察を行いました。

「ワサビ事業」の譲渡は12月3日に完了しました。

調査② 鶯宿橋及び危険箇所調査 [12月12日]

死亡事故発生箇所確認

町道鶯宿線の鶯宿橋及び死亡事故発生箇所ほか交通危険箇所の現地調査を行いました。



ワサビ栽培の状況

教育民生常任委員会

〔横手寿明委員長〕

調査① 三重県伊勢市 [11月5日]

スポーツ誘客推進事業

伊勢フットボールヴィレッジにて合宿誘致の取り組みについて視察研修してきました。伊勢市ではスポーツ合宿や大会などで伊勢市内に宿泊した場合、30人以上であれば人数×1,000円×宿泊数（上限50万円）を補助していました。また、その制度の周知の方法やリピーターの確保方法などを説明していただきました。



合宿や大会などで年間130万人が利用

調査② 三重県玉城町 [11月6日]

結婚から出産、子育て支援

玉城町では女性の自立とライフサイクルに焦点をあてた健康づくりに取り組んでいました。小学校区ごとに担当保健師（マイ保健師）を配置し、自身の健康に関することや家族のことも何でも気軽に相談できるように支援していました。

調査③ 三重県南伊勢町 [11月6日]

再生可能エネルギーマスタープラン策定

南伊勢町では平成28年度から三重大学、熊本県立大学と協働でバイオマス発電事業実施に向けた各種試験を実施していました。現在は「亜臨界水^{*}処理装置」を導入したバイオマス発電に取り組んでいました。

※「亜臨界水」とは水の温度374℃、圧力22MPa（メガパスカル）まで上げて、水でも水蒸気でもない状態のこと。

広報広聴常任委員会

〔堂前義信委員長〕

調査① 全国町村議会広報研修会
〔9月24日・25日〕

広報紙の文章作成・編集方法を学ぶ

砂防会館別館（東京都千代田区）および日本新聞会館（神奈川県横浜市）において、広報紙の企画編集方法や文章の作り方を学び、町広報紙のチェックや日本の新聞紙の歴史等を研修しました。



学んだことを今後の紙面に活かします

調査② 県町村議会広報担当者研修会
〔11月21日・22日〕

県内市町村広報紙の研修会で編集方法等学ぶ

花巻市において、議会広報紙作成の基本と編集方法を学び、あわせて当町の「議会だより110号」のアドバイスを受けてきました。

今後とも町民に広く親しまれる広報紙の作成を目指していきます。

議会運営委員会

〔上野三四二委員長〕

議会改革の取り組みを視察研修

調査① 青森県六戸町議会〔11月18日〕

- ◎「住民に開かれた議会運営」は住民との意見交換会で開催方法を年代別や地域別としたり、テーマを絞り参加者数を多くするよう努め、住民の関心、興味をひきつけるよう改善した。
- ◎「議会の検証」は年度毎に基本条例を評価検証報告する。年度末に一般質問について検証し、議員全員協議会でその後の方針を協議し決定している。



どの議会も住民との意見交換会の参加者を増やすことが課題

調査② 青森県十和田市議会〔11月19日〕

- ◎「住民に開かれた議会運営」は【開かれた議会づくり条例】を平成26年6月に制定し、平成27年1月に施行している。住民との意見交換会の開催方法は、地域の課題をテーマとしている。ポスターを作成し、①出された住民の要望は各課に伝える②調査が必要であれば調査する③他は聞き置くといった一覧表を作成し対処している。
- 議会改革特別委員会を第1期平成23年3月～26年11月で、第2期を平成30年3月～11月でそれぞれ活動した。
- ◎議会の検証は議会改革特別委員会において検討されたものを、一覧表にまとめ検討結果を評価記入し推進状況を把握している。



よつ やこうじ
四ツ家孝司さん (63歳・上春木場行政区)

野鳥の宝庫、御所湖が大好き

バードウォッチングと野鳥写真撮影が大好きな私は、四季を通じて色々な野鳥との出会いがある御所湖が大好きです。特に「雫石町御所湖に世界的な珍鳥ソデグロヅル飛来」のニュースが、英国野鳥の会から世界中に発信されたことが大きな出来事として心に残ります。



ふるかわひろこ
古川裕子さん (写真左) (68歳・黒沢行政区)

自然が一番

春、孫たちと枝豆の種を蒔いた。豆が自己の力だけで育つ、ほったらかしの畑。青い空を見上げ、風に頬をなでられ、自然の中で、自然のままに。

たまに遊びに来る友が言う。「いいなあ～雫石、うらやましいなあ～あんたたち」

夏、孫たちとジジババ、お父さん、お母さんに友だち家族。皆で枝豆刈り、汗ポツポツ、最高、岩手山を見上げ、駒ヶ岳を眺め、汗を流した後の枝豆うんめえ～。



皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしのここが好き♡」です。



はらだ
原田ゆかりさん (写真左) (50歳・林行政区)

自然豊かな雫石町

雫石町から見える、どっしり構えている岩手山・麓にある岩手山神社と町内各地にある豊富な温泉が好きです。私は自然豊かな雫石町のピーアールを兼ねて、YOSAKOI(よさこい)で県内外の色々な地域へ行って演舞や交流をしています。自然豊かな雫石町へ沢山の山の人たちに足を運んで欲しいと思います。



すずき まさる
鈴木 勝さん (52歳・野中行政区)

一步踏み出せばそこがフィールド

毎年たくさんの観光客がこの町の自然を満喫しに訪れます。私たちが毎日当たり前のように過ごしているこの風景の中、板を担げばスキー場、ペダルを踏めばサイクリング、シューズを履けばお山、タオル一枚で数ある温泉を堪能できる。こんな豊かなフィールドが目の前にあるこの町が大好きです。

ふるさとへの便り—78



在京雫石町友会 会員

 もり
森 ツヤ子さん
 (旧姓 大鷲)

今でも懐かしい雫石川とサケの思い出

私は繋温泉に生まれ育ちました。雫石には親戚友人知人も多く、同じ自然や景色を見ながら育ったので半分は雫石町民です。就職のために上京してから50年近くになり、遠くにおいて思うふるさとです。繋は昭和21年に盛岡市になり実家は繋温泉のはずれです。

小中学校までは4キロメートルも離れており、冬の通学手段は雪道を5才上の姉のうしろを下級生が連なって歩きました。片側に雫石川がゆったりと流れていました。私の大好きな思い出の場所は雫石川です。雫石川はとても豊かで春先に水がぬるむと「かじか」、田植えが終わる頃は「クキやアユ」、真夏になると「うなぎ」、秋にはサケです。昔はサケがたくさんとれ、猫もまたいで歩くから別名「ネコマタ」と言いました。サケには江戸時代からの漁業権があり、村中でとれたものを分け合いました。サケは魚道に「築」をつくりサケが上がっているのを「拾う」という原始的なものでした。

早朝父や姉と築を見に行くことが楽しみであり、父は毎年新しい築を笹竹で作っていました。現在繋は御所ダムができ半分以上湖に沈んでしまいました。私たちが楽しんだ川岸は30メートルも底に沈み人口が3分の1になり今年3月繋中学校は閉校になります。

戦後のベビーブームがうそのようです。でも川下のメメンコ（ねこやなぎ）だけが昔のまま残っており懐かしいです。

上京後はマレーシア系の水産会社に勤めその後公務員（栄養士）となり、結婚後すぐに夫の仕事の関係でブルネイ王国に移り住みました。ボルネオ国王のバースデーにはハリマヤ王宮が公開され、日本人会の皆で「盆踊り」でお祝いしました。この日は国王や王族と会えて握手してくれ、パーティーのあと軽食がでます。今年令和天皇即位の式典に国王がお見えになりとても懐かしかったです。

当時国王のお楽しみは「ポロ」と「スポーツカー」でした。ポロの馬場は自由に見学でき、すばらしいアルゼンチン産の馬には専門の調教師がいました。そのためにアルゼンチン産のワインが大びんで輸入されていてイスラム教徒以外の外国人は自由に飲食することができました。その後ブルネイはイギリス保護領から独立し、石油関係で豊かな国になり、王宮は金ぴかになり出入りも不自由になりました。しかし町中にはマンゴーの樹が植えられ、実がぶらぶら成っており外国人を和ませております。

帰国後は栄養士をやめて専業主婦となり好きなお菓子やカレー料理を楽しんでいます。

いわて銀河プラザ20周年記念で
村上弘明氏とブルネイ王国・
ハリマヤ王宮にて
(右から2番目筆者)ブルネイ王国の友人と
(左端が筆者)

昭和24年5月繋温泉生まれ。盛岡市立繋小中学校—盛岡第四高校—生活学園短大（現盛岡大学）—水産会社—公務員—ブルネイ王国在住—帰国後東京都台東区在住。趣味：料理、生け花。屋号：ヤナギ

栗石町へようこそ

＼ ご縁があり、町外から迎えられた「お嫁さん」 ／

しょうじ じゅんこ
庄司 順子さん（45歳） | 京都府舞鶴市出身・林崎行政区在住 |

Q お二人の馴れ初めは

A 同じ大学で2人とも学生寮に住んでいました。男子寮・女子寮の交流の中で知り合いました。

Q 栗石町に暮らしてみて、いかがですか

A 自然に囲まれて、ゆったり暮らせる住み良い町。盛岡に近いのも便利。岩手山と秋田駒ヶ岳、両方眺められるのはゼイタクですね。

Q 町に望むことは

A 子どもたちが健やかに成長できる町であってほしいです。



2020年元旦 自宅にて 写真左から
じゅんこ 順子さん、あかり 燈さん（6歳）、つむぎ 紡さん（9歳）、
たくし 夫の拓史さん（45歳）

ながよしシリーズ⑦

今月の
表紙

写真左から
しゅうと 修人さん（11歳）、ゆうと 悠人さん（6歳）
みお 美桜さん（9歳）



とくだよしかず 徳田美和さん、えみこ 栄美子さん（元御所行政区）のお子さん、ながよし3きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長男 しゅうと 修人さん：整備士

長女 みお 美桜さん：ペットトリマー

二男 ゆうと 悠人さん：警察官

情報公開

● 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

【議長交際費内訳（10月～12月）】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費		お祝い、会費	
10月	1件	22,000円	3件	28,000円
11月	1件	22,000円	6件	35,000円
12月	1件	20,000円	5件	23,500円
合計	3件	64,000円	14件	86,500円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■ 編集デスク

町民の皆様方には、輝かしい新年を迎えられたことと存じます。令和元年12月定例会は、12名の議員による一般質問があり、活発に議論がかわされました。

また、11月に開催された「町民と議会との懇談会」に町民の方々が参加し、ご意見をお聞かせいただき感謝申し上げます。今後町政に反映できるように取り組んでいきます。

広報編集委員としてまだまだ未熟ですが頑張っていきたいと思っています。

（広報広聴常任委員：岡本忠美）

発行責任者（議長）／前田隆雄
編集委員長／堂前義信
副委員長／横手寿明

編集委員／幅 秀哉・古舘謙護
岡本忠美・坂井尚樹
金子一男